

中心市街地グランドデザイン策定に向けて（方針の整理）

（1）まちづくりの方向性について

方向性1 集まる場 歩いて楽しい！『にぎわいの創出』

- ・地域資源を活かし、居心地が良く歩きたくなるまちなかを目指します！

方向性2 住む場 住んで快適！『まちなか居住の推進』

- ・都市機能及び生活利便性の高い施設の集積と選択肢の充実を図り、まちなか居住の推進を目指します！

方向性3 つながる場 ヒトがいきいき！『活気の創出』

- ・空き店舗のリノベーションや起業応援など、活性化を担うヒトがチャレンジしやすい取り組みを進め、官民連携による飲食・物販・サービスなどの集積と持続可能なまちなかを目指します！

（2）ゾーニングについて

上記方向性について、小牧駅から小牧山までの区域における道路網や都市機能、まちづくり資源などの分布状況を踏まえ、右図のとおり2つにゾーニングし、それぞれのゾーンの整備方針を設定します。

Aゾーン

駅前にふさわしい商業機能と多世代交流機能が充実するゾーン
中高層大型建築物のある都会的な景観ゾーン

Bゾーン

散策しやすく新たな発見のあるさまざまな機能が集まるゾーン
社寺のある歴史を感じられ、小牧山を眺められる落ち着いた景観ゾーン

